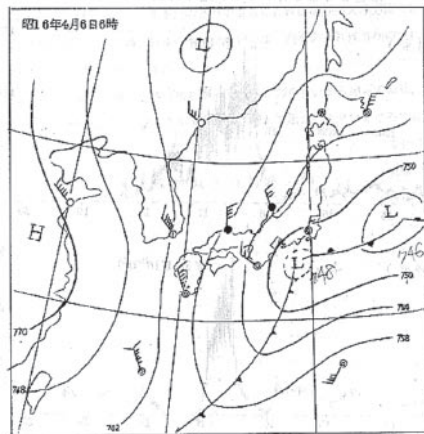


四高ボート部の遭難事故



1941(昭和16)年4月6日、第四高等学校(金沢大学の前身)漕艇班員8人を含む11人乗りのボートが今津から大津へ向かう途中、突風と高波のために萩の浜沖(現在の高島市高島町)で遭難した。前年に瀬田川で行なわれた全国学生漕艇大会で優勝し、連続制覇を目指して合宿練習中であった。一行と昼食をともにする予定で近江舞子に待機していた先輩の話では、当日は朝から湖上は北西の風が大変強く、波が相当うねっていたとのことで、湖上は吹雪の状態で捜査は困難を極めた。大がかりな捜査の結果、二日後の8日に大破したボートやオール、所持品などが発見され、9日に最初の一人が大溝沖で見つかった。最後の一人が愛知川寄りで収容されたのは6月10日で、遭難から66日目のことであった。11人全員死亡という湖上での大惨事となった。失われた



図T1-2-1 四高ボート部遭難時の天気図 1941.4.6, 6時 滋賀県防災気象要覧, 1969より引用

若い命を悼み、この悲劇を後世へ伝えようと、一周忌には四高の関係者と地元の人たちが萩の浜の湖岸沿いに桜の苗木を植えた。その桜の木は成長して長年美しい花を咲かせたが、近年は老木となり、新たに植え替えられた。萩の浜への入り口に、「四高桜」の碑が建っている。

当時の天気図(図T1-2-1)を見ると、低気圧が東海沖から関東沖へ抜け、中国大陸東岸から高気圧が東シナ海へ張り出している。この低気圧に吹き返す風が強風となっており、琵琶湖上へ吹き出したと考えられる。このときの強風は、一般には「比良おろし」とされているが、正確には「勝野おろし」といわれる。比良山地の北東部(東側)が琵琶湖に迫る勝野の地域では、この周辺を吹き下りる強風は「勝野おろし」と呼ばれている。

(武田栄夫)

蜃気楼

1 蜃気楼とは

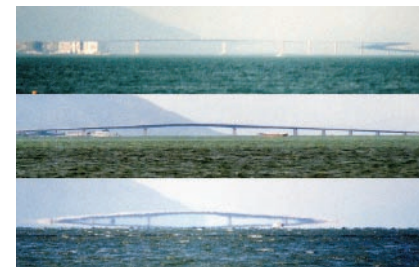
蜃気楼は大気中に異なる温度の層が存在するとき、遠方の物体からの光が屈折することで、その物体が倒立像を伴ったり、伸びたり浮上ったりして見える光学現象である。光を屈折させる原因は大気の温度である。大気の温度が低いほど、光の屈折率は高く、大気中で光はより温度の低い方へと屈折していく。

2 蜃気楼の種類

蜃気楼は元の物体の上方に像変化が現れる上位蜃気楼と下方に像変化が現れる下位蜃気楼の2種類がある。上位蜃気楼は発生頻度は低く、複雑な像変化をする蜃気楼である。日本では4ヶ所で確認されている。一方、下位蜃気楼は浮島現象ともよばれ、全国的に一年を通して発生しやすい蜃気楼である。道路の“逃水現象”も下位蜃気楼の一種である。この2種類の蜃気楼はよく混同されるが、像変化の方向や発生する気象状況が違うので明確に区別する必要がある。

3 琵琶湖の蜃気楼の上位蜃気楼

上位蜃気楼の発生時期は4~6月で、琵琶湖周辺が高気圧に覆われ午前中から気温が著しく上昇する日に発生しやすい。特に、5月の発生が多い。この蜃気楼を発生させる大気層は、湖面付近の気温が一番低く、上方ほど気温が高い。図T1-3-1の上段は琵琶湖大橋の橋梁がZ字型に変化した上位蜃気楼である。琵琶湖では対岸や湖上の物体が上方に伸びたり、2~3像になるなど、非常に変化に富んだ像が現れる。発生時間は数分から数時間と幅がある。



写真T1-3-1 琵琶湖大橋の蜃気楼と実風景の比較 上段:上位蜃気楼、中段:実景、下段:下位蜃気楼 (伴 1997年5月)

4 琵琶湖の下位蜃気楼

下位蜃気楼を発生させる大気層は、湖面付近の大気の温度が一番高く、その上方ほど温度が低い。そのため、下位蜃気楼は湖上に寒暖差が生じる秋冬や夜間、早朝、寒気が流入する日などに出現する。図1の下段は琵琶湖大橋が下方倒立像を伴い凸レンズ状に見える下位蜃気楼である。琵琶湖では対岸や湖上の物体が下方倒立像を伴ったり、下方に伸びた像が見える。一度発生すれば一日中発生していることもある。

5 琵琶湖で蜃気楼を発見する方法

蜃気楼は観測者から10km前後のところに発生しやすい。蜃気楼を発見する場合、先述の期間・気象条件を満たすときに遠方が幅広く見渡せる湖岸などの低い場所から探すといふ。例えば、なぎさ公園おまつり広場(大津市中央4)は絶好の蜃気楼観察ポイントである。蜃気楼像は想像するより小さく、湖上のモヤで見にくい場合が多いので、詳細な観察には10倍程度の双眼鏡等を用いるといふ。詳しくは『琵琶湖の蜃気楼情報(<http://www.biwa.ne.jp/t-ban>)』というWEBサイトが参考になる。

(県立高島高校教諭 伴 禎)

もっと知りたい方へ 85 4

【日本で上位蜃気楼が確認されている4ヶ所】現在のところ、日本で毎年・同季節に上位蜃気楼が発生する地域は、琵琶湖、富山湾、猪苗代湖、北海道の沿岸の4ヶ所である。